

## ロシア禁輸ユーザーNo.21 (KNAAPO) 消滅の公式記事

米満啓

私は8月19日の本欄 (<http://www.1st-xcont.com/RussianSanctionEntityNo21KNAAZ.pdf>) でウィキペディア情報として、外務省リスト No.21 のコムソモリスク・ナ・アムール航空機製造工場 (略称 KNAAPO) という企業が、2013年にスホイの傘下に入り、今は同リスト NO.203 の KNAAZ になっていることを述べました。

かねてからウィキペディア情報では信憑性が今一つとっていたのですが、当該企業消滅に関する公的な資料が見つかったのでご紹介したいと思います。

統一国家法人登録簿 (Е Г Р Ю Л) サイト (<https://egrul.nalog.ru/index.html>) で No.21 (KNAAPO) の納税者番号 (ИНН) 2703019760 を用いてデータ検索してみました。

The screenshot shows a web browser window displaying the search results on the EGRUL website. The search query is 2703019760. The results section shows one entry: 1. ОТКРЫТОЕ АКЦИОНЕРНОЕ ОБЩЕСТВО "КОМСОМОЛЬСКОЕ-НА-АМУРЕ АВИАЦИОННОЕ ПРОИЗВОДСТВЕННОЕ ОБЪЕДИНЕНИЕ ИМЕНИ Ю.А. ГАГАРИНА". The entry includes the address: 681018, ХАБАРОВСКИЙ КРАЙ, КОМСОМОЛЬСК-НА-АМУРЕ ГОРОД, СОВЕТСКАЯ УЛИЦА, 1, -, and the OGRN: 1022700523724, OGRN assignment date: 01.12.2002, INN: 2703019760, KPP: 270301001. The date of termination is 01.01.2013, which is underlined in red. A "GET AN EXTRACT" button is visible next to the result.

「Date of termination: 01.01.2013」とあるから、やっぱり KNAAPO の形では存続していないらしい。詳しい情報を見るために GET AN EXTRACT のボタンを押した結果が次頁です。

**ВЫПИСКА**  
из Единого государственного реестра юридических лиц

12.12.2022  
дата формирования выписки

№ ЮЭ9965-22-220225971

この明細書には、法人に関する情報が含まれています

Настоящая выписка содержит сведения о юридическом лице

**ОТКРЫТОЕ АКЦИОНЕРНОЕ ОБЩЕСТВО "КОМСОМОЛЬСКОЕ-НА-АМУРЕ  
АВИАЦИОННОЕ ПРОИЗВОДСТВЕННОЕ ОБЪЕДИНЕНИЕ ИМЕНИ Ю.А. ГАГАРИНА"**

полное наименование юридического лица

**ОГРН** 1 0 2 2 7 0 0 5 2 3 7 2 4

включенные в Единый государственный реестр юридических лиц по состоянию на

« 12 » декабря 20 22 г.  
число                      месяц прописью                      год

ОГРНは国家基本登録番号（основной государственный регистрационный номер）の略

閲覧日 ; 2022.12.12

文書名 ; 統一州法人登録簿から抜粋

ガガーリンに因んで命名の公開株式会社  
コムソモリスクナアムール航空生産協会

**Сведения о прекращении юридического лица**

16	Способ прекращения 合併の形式による企業再編で終了	Прекращение деятельности юридического лица путем реорганизации в форме присоединения
17	Дата прекращения	01.01.2013      終了日は 2013.1.1
18	Наименование органа, внесшего запись о прекращении юридического лица	Межрайонная инспекция Федеральной налоговой службы № 46 по г. Москве
19	ГРН и дата внесения в ЕГРЮЛ записи, содержащей указанные сведения	2137746011500 01.01.2013      終了登記をした役所名

法人の終了に関する情報

法人登録簿への登録日と「ГРН（恐らく Ref.No.か）」

**Сведения о правопреемнике**

161	ОГРН	1037740000649      後継者に関する情報
162	ИНН	7740000090      スホイの納税者番号
163	Полное наименование юридического лица 法人名称	ОТКРЫТОЕ АКЦИОНЕРНОЕ ОБЩЕСТВО "АВИАЦИОННАЯ ХОЛДИНГОВАЯ КОМПАНИЯ "СУХОЙ"
164	ГРН и дата внесения в ЕГРЮЛ записи, содержащей указанные сведения	2137746011500 01.01.2013      公開株式会社 航空ホールディングカンパニー スホイ

法人登録簿への登録日と「ГРН（恐らく Ref.No.か）」

結びとして、以上から読み取れることをまとめると

- **KNAAPO** (リスト No.21) は 2013 年 1 月に、吸収合併により法人としては消滅した。
- 受け皿となったのはスホイ (リスト No.42) である。  
つまりスホイの社内部門になった。

ということが確認されたと言えるでしょう。

## <附録> 伏田 寛範氏（日本国際問題研究所）による本ユーザーの紹介

「極東ロシア地域におけるハイテク産業の振興－コムソモースク・ナ・アムール市を例に－」  
から抜粋（[https://www2.jiia.or.jp/pdf/resarch/H26\\_Development\\_of\\_Russian\\_Far\\_East\\_Siberia/05-fushita.pdf](https://www2.jiia.or.jp/pdf/resarch/H26_Development_of_Russian_Far_East_Siberia/05-fushita.pdf)）

### （1）コムソモースク・ナ・アムール航空機工場（KnAAZ）<sup>14</sup>

コムソモースク・ナ・アムール航空機工場（KnAAZ）の歴史は、コムソモースク・ナ・アムール市の歴史そのものといえよう。同市の創設から 2 年後の 1934 年 7 月 18 日、KnAAZ の前身である航空機工場 No.126 の建設が始まった。工場の建設開始から 2 年後の 1936 年 5 月には最初の航空機を製造した。第二次世界大戦中は Il-4 爆撃機の製造に携わり、朝鮮戦争時には MiG-15 戦闘機を製造するなど、極東地域における航空機製造拠点として発展してきた。1959 年からはソ連初の超音速戦闘機 Su-7 の生産が開始され、以後、同工場では主にスホーイ設計局の航空機が生産されるようになった。

正確には「子会社」でなく「社内部門」？

**14** 同工場の正式名称は、Yu.A.ガガーリン記念コムソモースク・ナ・アムール航空機工場という。なお、同工場はこれまでに数回改称しており、2013 年 1 月 1 日より持株会社スホーイの**完全子会社**となったことにより、旧来の Yu.A.ガガーリン記念コムソモースク・ナ・アムール航空機生産合同（KnAAPO）から現在の名称に変更された。

ソ連崩壊後、ロシア軍関連の発注は大きく削減され、工場経営に深刻な打撃がもたらされた。新たな収入源を求めて、工場では軍民転換と兵器輸出が進められた。ソ連時代末期から実施されていた軍民転換の取り組みが本格化した<sup>15</sup>。例えば、1993 年には電気製品などの生産のための新工場が建設され、1994 年からは路面電車の修理を請け負うようになった。さらに、民間用小型航空機の開発・生産にも携わるようになった。軍民転換と同時に兵器輸出の拡大も目指された。1992 年から最新鋭の戦闘機 Su-27（ロシア軍向けではなく、輸出用に仕様変更したもの）が中国に輸出されるようになり、1995 年からはベトナムにも輸出された。今日までに、KnAAZ で製造された Su-27 系列の戦闘機は、中越両国以外にもインドネシアやベネズエラ、エチオピアに輸出されている。こうした兵器輸出による収入は同工場の経営状況を支える柱となった。

**15** 第二次世界大戦後の復興期においても軍民転換が実施され、家具等の耐久消費財が生産された。ソ連時代末期は主にモーターボートの生産に携わった

今日、KnAAZ の製品ラインナップには、ロシア空軍の最新鋭戦闘機 Su-35S（現在の主力戦闘機 Su-27 の改良型）や、スホーイが開発中の新型戦闘機 T-50、そしてソ連崩壊後のロシアで初めて開発された旅客機スホーイ・スーパージェット 100<sup>16</sup>などが並んでいる。近年は民間機の製造に力を入れており、生産の 50%は民間用製品とする目標が掲げられている<sup>17</sup>。これら軍用機・民間機のプロジェクトのために、スホーイ本社からだけでなく、2007 年より連邦特別プログラムからの支出も受けて大規模な設備更新を実施しており、2020 年までに総額 278 億ルーブルが投資される予定となっている<sup>18</sup>。2008 年だけでも 45 台の高性能工作機械が導入されたという<sup>19</sup>。

**16** KnAAZ では同型機のコンポーネントの製造を担当している。なお、同型機の最終組み立ては、KnAAZ に隣接するスホーイ民間航空機会社コムソモースク・ナ・アムール支社（KnAF）の工場で行われている。

17 [http://www.knaapo.ru/about/history/etapes/civil\\_project/index.php?sphrase\\_id=1105](http://www.knaapo.ru/about/history/etapes/civil_project/index.php?sphrase_id=1105)

18 Своё дело ДВ, №3 2014, стр.15

19 Стратегический план устойчивого развития города Комсомольска-на-Амуре до 2025 года, -Хабаровск: издательство «Приамурское географическое общество», 2011, стр.142.

このように、一見順調そうに見える<sup>20</sup>KnAAZ だが、同社幹部によると、同工場は深刻な労働者不足に悩まされているという。リーン生産方式の導入による労働者配置の適正化に加え、毎年600人以上を対象に工場内での再教育を実施し配置転換を行っているとはいうものの、抜本的な改善にはつながらず、2014年は900人の労働者を追加募集することになった<sup>21</sup>。労働者不足を解消するため、KnAAZはコムソモーリスク・ナ・アムール市やハバロフスク地方の雇用センターと提携し、失業者対象の雇用プログラムを実施する以外にも、地元の工科大学や工業専門学校との産学連携教育プログラム（毎年、60～100人の学生がプログラムを修了し、50～60人の生徒を大学に受け入れさせている）を実施し、インターン生の受け入れや奨学金の給付を行い、将来の技術者となる優秀な学生の確保に力を入れている<sup>22</sup>。

20 ウクライナ危機が深刻化する以前の2012年10月時点における同社の予測では、工場の生産高は2015年までに2倍になるとされた。

21 Своё дело ДВ, №3 2014, стр.13. 少し古い数字だが、2011年時点におけるKnAAZの従業員総数は約1万3500人と報じられている。Хабаровские новости, 31 октября 2011 (<http://newskhab.ru/?p=13027>) 参照。

22 Своё дело ДВ, №3 2014, стр.13.

1節で述べたように、労働者不足はKnAAZだけの問題ではなく、コムソモーリスク・ナ・アムール市（さらには極東地域）全体の問題でもある。KnAAZでは、賃金の物価スライド制の導入、社宅建設・住宅購入の際の無利子貸付・保養所の整備など福利厚生を拡充などを通じて、労働者のインセンティブを高めようとするのと同時に、域外（ロシア全土）からの労働者の受け入れ（アウトスタッフィング）も進めている。2013年は毎月平均で110～120人の労働者を受け入れており、2014年には300人程度まで拡大すると報じられている<sup>23</sup>。だが、こうした施策も十分ではないことをうかがわせる事件が起こっている。

23 Там же.

2014年12月、KnAAZの一部作業場で女性工員を中心とするストライキが発生した。労働者側の主張によれば、KnAAZでは慢性的な人手不足のために超過労働（過重労働）を強いられており、超過労働分の賃金が未払いとなっているとのことである<sup>24</sup>。KnAAZでのストライキは、前節でみた「戦略プラン」が指摘するコムソモーリスク・ナ・アムール市の経済発展を阻害するリスク要因が顕在化した一事例とみなせるだろう。

24 4 <http://www.aex.ru/news/2014/12/18/128260>